

# 町の移住関係施策いろいろ

# 自分らしい暮らし にしあいつ暮らし

## お試し移住住宅“Otame”

町に移住を考えている人が町に一定期間滞在し、町での生活に必要な慣習や物件の管理を実際に体験できる施設。充実した西会津暮らしの実現に向けて担当スタッフが支援を行います。



▲ ホームページ



## 空き家バンク

町内の空き家の賃貸・売買物件情報をウェブサイトで公開し、町へ移住・定住・二地域居住などを目的とした空き家の利用希望者に紹介する制度です。(17ページに関連記事)

**賃貸可能な空き家を  
随時募集しています!**

## 空き家整備費補助事業【空き家所有者・管理者向け】

メニュー	条件	補助金
空き家改修	事業費(改修費) 40万円以上	事業費の1/2 [上限100万円]
空き家登記・相続	—	事業費の1/2 [上限40万円]
空き家清掃	—	事業費の1/2 [上限20万円]

## にしあいつ移住支援事業補助金(移住支援金)

東京圏から移住した人への移住支援金です。対象者にはさまざまな条件がありますので、詳細についてはホームページを確認するか、下記まで問い合わせください。

- 補助金額
  - ・ 2人以上の世帯 = 100万円(令和4年度より子育て加算を別途追加)
  - ・ 単身世帯 = 60万円



▲ ホームページ

電話やメールでの相談も受け付けていますので、気軽に問い合わせください。

☎ 45-2213  
✉ tiiki@town.nishiaizu.fukushima.jp  
✉ nishiaizu.iju@gmail.com

にしあいつ移住・定住総合支援センターの情報を発信中!



移住ナビ



Instagram



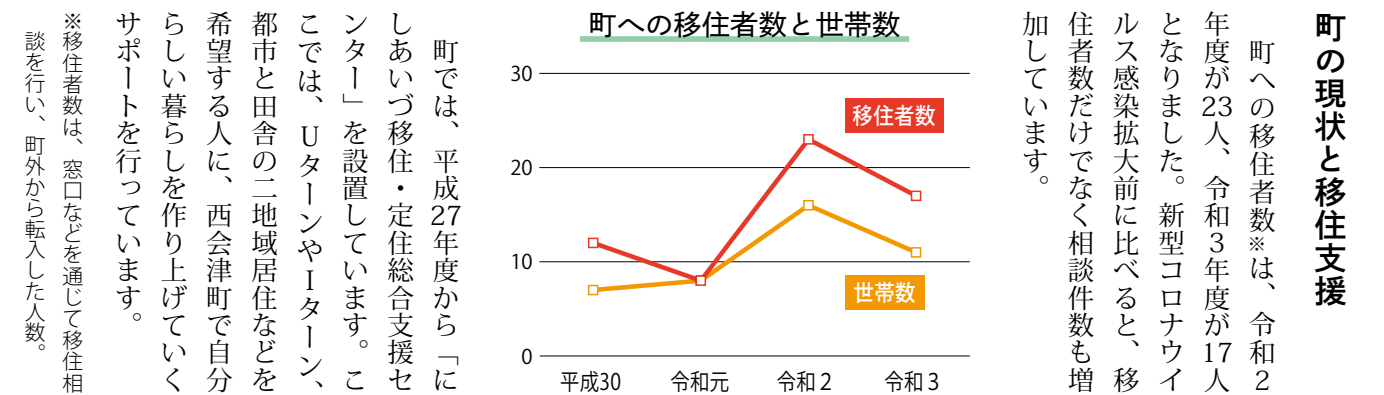
Facebook



YouTube

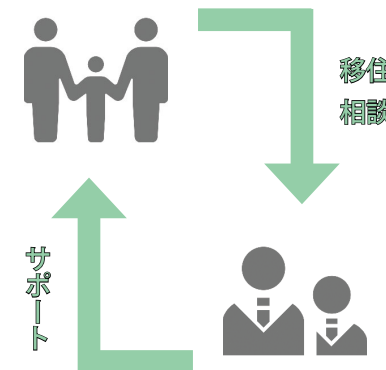
令和3年度の福島県への移住者数が1,532世帯2,333人と公表されました。この数字は、移住者数が初めて1,000人を超えた前年度の723世帯1,116人から倍増となっており、全国的にも地方移住への需要が高まっています。

今月号では、町の移住支援策を紹介するとともに、町に移り住んだ皆さんに移住のきっかけなどについて聞きました。



## 移住に関する主な支援内容

町への移住希望者  
町に関心のある人  
Uターン希望者 など



移住支援

- 移住相談・情報提供
- お試し移住住宅“Otame”の案内・利用手続き
- にしあいつ移住支援事業補助金



住まいの支援

- 空き家物件の紹介(空き家バンク)
- 賃貸住宅の紹介(町営住宅・民間アパート)
- 住宅の取得・改修の補助(定住促進助成事業など)



仕事の支援

- 求職者マッチング支援(無料職業紹介所)
- 起業・創業支援(相談対応・創業塾・補助金など)
- 就農支援(新規就農者あんしんサポート事業など)



その他の支援

- 子育て支援(出産祝金・子育て医療サポートなど)
- 高齢者福祉支援(在宅高齢者等福祉サービスなど)
- ※ その他の支援についても別途紹介。



おかだ なお  
**岡田 菜緒**さん

東京都出身。昨年の春頃から西会津町での暮らしに興味を持ち、令和3年11月に移住。上野尻地区の空き家を借りている。ゲストハウスひとときの一面にカフェ「CHAMISE」を今春オープン。

**若林** 現在お二人は空き家を借りていますが、購入するという考えはなかったですか？  
**岡田** (移住したばかりで)そこに長く住んでいけるか分からない状況で、いきなり空き家を「買う」ということにはためらいます。まずは借りてみて、将来的に買う、という流れができると思います。

### — 空き家を借りて、 地域を知って、 定住へ —

**若林** 地域での受け入れ態勢ですね。  
**岡田** もともと暮らしている方にはごく当たり前のことであっても、移住者は分からない。そのギャップを埋める仕組みがあると良いと思います。かっただけです。  
**若林** 移住者を増やすには、自治体長さんをはじめ地域をあげた受け入れ態勢が重要だということですね。本日はありがとうございました。

**若林** センターに寄せられる空き家所有者からの相談は、ほとんどが「売却」を希望されますが、住まいを探している人はほとんどが「賃貸」を希望しています。貸せる物件を増やしていくのが課題と感じています。移住者として、町や地域への要望や意見などはありますか？  
**江川** 地域の皆さんによくいただいております。子どもたちに新しい友達ができるか心配でしたが、同級生に誘われてスポ少に入ったり、すっかり馴染んでおり、現状で十分満足しています。  
**岡田** 移住者は、人足などの地域活動を知る機会が少ないのではないかと思います。私の場合は、先輩移住者がいろいろと教えてくれたので良かったのですが…

### — 「もうちょっと町に居てみようかな」 が延びに延びて移住しました —

**若林** 家の様子は？  
**岡田** 2年ほど人が住んでいなかったようですが、すごくきれいで、私はほとんど直さずに住み始めました。  
**若林** 実際に空き家に住んでみてどうですか？  
**岡田** 最初は他人の家に住んでいる感じが強かったのですが、片付けが進むにつれて生活しやすくなりました。あとは、住んでいると周りの人たちが「新しい人が住むようになったのね」「空き家だとかわいそうだから良かった」と声を掛けてくれるのでありがたく感じています。ここでの生活は、冬の雪が大変ですが、大変なことはそれだけ。住みやすいと感じています。

**江川** 娘たちはいきいきしています。アパートではどうしても周りに気を遣って生活している部分があったので。その分、家の中がにぎやかになりました(笑)。妻の知人が訪ねてきたり、家で集まって食事をしたりしています。「もっと早く西会津で暮らしていれば良かった」と2人で話しています。  
**若林** なぜ西会津に住みたいと思ったのですか？  
**岡田** 大学時代に農学部で、卒業後は建築関係の仕事をしていましたが、農作業などをもう一度やりたいと思い、ダーナ・ビレッジ(安座)にお手伝い何度か来ていました。そんな時に



## 移住者 × 移住コーディネーター

にしあいづ移住・定住総合支援センターの若林美香 移住コーディネーターが、町へ移住した皆さんに移住したきっかけやその後の暮らしの様子について聞きました。

**若林** 江川さんがUターンしようと思っただけですか？  
**江川** 以前はアパートに住んでいて、娘たちが成長するにつれて生活音が気になり出しました。元氣盛りの娘たちもそんな状況を何とか分り始めたこともあり、妻と話して娘たちがストレスなく生活できるような環境に引っ越そうと決めました。  
**若林** 空き家を借りる上で、金銭面の負担はありましたか？  
**江川** 所有する方の善意で、修繕された状態で転入できてとても助かりました。当初見込んでいた1割程度の費用で済んだと思います。

### — 「早く西会津で暮らせば良かった」と妻と話しています —

**若林** 不安だったことは？  
**江川** 古民家のため家の構造に妻や娘たちがなじめるかが不安でした。今は楽しく住んでいる様子を見てホッとしています。あとは、地元とはいえ(実家のある)自治区と違うという不安がありました。周りの皆さんが声を掛けてくれたり、花見に誘ってくれたりして、溶け込めるように働きかけてくれたのが嬉しかったです。地域の子どもたちも娘たちに声を掛けてくれて、自分から「公園で遊んでいい？」と言って遊びに行っています。  
**若林** アパート暮らしの時と比べて家族に変化は？



えがわ たけゆき  
**江川 健幸**さん

西会津町出身。妻と2人の娘とともに令和4年3月に会津坂下町からUターン。空き家整備費補助事業を活用して修繕した野沢地区の空き家を借りて住んでいる。